

疾患名

乾癬性関節炎

病気について

乾癬患者さんの6~42%に発症する炎症性の関節炎です。手先や足先に近い関節に腫れや変形、痛みなどの炎症性の症状が多くみられます。関節リウマチと症状が似ていますが、異なる病気です。末梢関節炎と言われる手指や足趾の関節の腫れや痛みだけでなく、脊椎炎や付着部炎といわれる脊椎や腱・靭帯に炎症が起こることがあります。多くの症例では、関節の炎症は左右対称でなく、障害の起こる関節も少ないのが特徴です。乾癬性関節炎の症状は、早期から関節の破壊を生じる場合や急速に進行する場合があります。関節が変形すると元に戻らなくなってしまうため、関節炎に有効な治療を早期から行い、機能障害を起こさず、日常生活のQOL(生活の質)を保つことが重要です。

治療について

乾癬の皮疹には外用剤が使用されますが、関節炎には効果がありません。全身療法として消炎鎮痛剤や抗リウマチ薬などの内服薬、生物学的製剤（注射薬）があります。

アフェレシス療法の適用とその実施

保険適用：あり

複数の生物学的製剤等の既存の全身治療が無効、もしくは効果不十分又は適用できない乾癬性関節炎の臨床症状の改善に使用します。

アフェレシス療法の種類：顆粒球・単球吸着療法(Granulocyte and monocyte adsorption apheresis :GMA)

回数：1クールにつき週1回を限度として、5週間に限って施行します。1クール終了時に無効と判断されれば中止しますが、一連の治療として2クールまでは保険で認められます。